

# 環境意識のユーザー取り込み

## 朝来市・アートオート アイドリングストップ支援装置の装着開始

### 事業通じ地域貢献、改造EVの製作も

自動車整備・販売の(株)アートオート(本社・朝来市和田山町枚田、上垣賢二社長)は4日から、但馬地域初となるアイドリングストップ支援装置の装着などの新しい事業を始めた。ハイブリッド車や電気自動車(EV)が普及する中、環境を意識するユーザーを取り込み、「事業を通じて環境面で地域貢献したい」(上垣社長)としている。

低炭素社会実現に向け、一企業としてどんな取り組みができるのか考えていた中、昨年6月に朝来市商工会が主催した経営革新塾を受講。これをきっかけに事業計画を練り、県から経営革新計画の承認を得た。今年2月には、同商工会の勧めで環境マネジメントシステム「エコアクション21」も取得した。

アイドリングストップ支援装置は(株)オズコーポレーション(横浜市)の製品で、既存車に後付けできるのが特徴。信号待ち、渋滞時の無駄なアイドリングをなくし、CO2削減などにつなげる。一部の車種を除いて装着可能で、オーディオやエアコンが切れない機能も持つ。料金は8万円から。初年度30台の販売が目標だ。

改造EVの製作とEV教室を開く事業も開始した。改造EV製作では、既存の軽自動車(新潟県)のエンジンを変更。モーターなどに充電(8時間完了)でき、30〜40キロ走行できる。価格は80〜100万円程度。移動範囲が短距離で、使用目的が決まっている事業者の需要を見込む。

EV教室は、知識や技術を学んでもらうもので、改造の際に必要な申請手続きもサポートする。年内の開催を計画している。更にEVバギーの販売も始めており、3つの新たな柱で集客を狙う。(同社は079・672・1100)



アートオート  
アイドリングストップ支援装置を手にする上垣社長(朝来市和田山町枚田)

【森川】